

2022年12月26日

【格付維持】

大阪大学

発行体格付：AA+ [格付の方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

江戸時代創設の懐徳堂と適塾を精神的な源流とし、1931年に6番目に設置された帝国大学。国立大学で唯一、外国語学部を擁し、多彩な学術分野を展開する。産業界や学問・芸術分野に多くの人材を輩出しており、社会的評価が高い。文部科学省所管の国立大学法人で、国内の教育研究活動を先導する役割を果たす指定国立大学となっている。教育政策上の極めて高い重要性和大阪大学自体の事業基盤の強さを格付に反映している。

大学を主とする高等教育機関は教育と研究、社会貢献に寄与する公共財として非常に重要な役割を担う。とりわけ国立大学は高等教育の実行機関として政策上の重要性が極めて高い。運営費交付金をはじめとする既存の財政面サポートは徐々に弱まっている半面、大学ファンドの創設、準トップ大学や地域中核・特色ある研究大学向け支援など自律的経営を促すメリハリの効いた新施策が整いつつある。政府との関係に変化は予想されず、国立大学法人は政府系機関の一角として極めて高い信用力を備える。

関西の政財界や市民の要請と援助で設立された経緯から実学重視の学風を持ち、産学連携面で豊富な実績を持つ。受託研究費、共同研究費、奨学寄附金などを合計した外部資金受入額は右肩上がりだ。2021年度は感染症研究関連の受託研究費の増加、産学官連携推進活動経費率（大学の産学連携活動に役立てる目的で企業に負担してもらった経費）の引き上げ、周年記念事業募金の効果などで、対前年度比で約1割伸長している。豊富な外部資金獲得は優れたマネジメント力を示している。

医学部附属病院は特定機能病院として高難度疾患に対応し、臨床研究中核病院の指定を受けて最先端医療の研究に取り組み、コロナ下においても自助努力と補助金を支えに収支は安定している。歯学部附属病院は国立大学で唯一、独立運営しており、教育・研究の両面で口腔医療の発展に貢献している。医学部附属病院は2025年度竣工予定の統合診療棟の工事が進み、翌年度以降に新病棟の建設も検討している。確実な患者確保により安定した収支が見込めそうだが、進捗を確認していく。

免疫学を筆頭に研究力の高さに定評がある。2022年10月には「ヒューマン・メタバース疾患研究拠点」が文部科学省の世界トップレベル拠点プログラムに採択され、拠点形成に対する支援を受けることになった。仮想空間で生命現象や病気の発生経緯を再現して、疾病対策などの研究に役立てる。大阪大学では免疫学研究拠点到次ぐ、2例目の採択になった。優れた研究力を背景に大学ファンドの支援対象である国際卓越研究大学への申請を検討中だ。申請及び認定取得への道筋が経営基盤の強化につながるか注視していく。

【格付対象】

発行者：大阪大学

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	AA+（維持）	安定的

名称	発行総額 (億円)	発行日	償還日	格付
第1回大阪大学債券	300	2022年04月28日	2062年03月17日	AA+（維持）

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先：経営企画室（広報担当） TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	喜多 総治郎
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	丸山 博哉

信用格付を付与した日	2022年12月26日
主要な格付方法	政府系機関等の格付の考え方 [2022. 12. 26] 事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2021. 06. 01] 学校法人 [2021. 05. 31]
上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html	
評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html	
格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html	
格付関係者	大阪大学
注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。	
利用した主要な情報 品質確保のための措置	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を判断した情報であること。
情報提供者	格付関係者
信用格付の前提、意義及び限界 R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。 R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。 利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。一般に投資に当たって信用格付に過度に依存することが金融システムの混乱を引き起こす要因となり得ることが知られています。	

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当)

TEL. 03-6273-7471
TEL. 03-6273-7273

E-mail infodept@r-i.co.jp

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。